

河原外語観光・製菓専門学校の方針

1. 河原外語観光・製菓専門学校の理念と目的

本校は、商業実務関係専門課程においては、観光や宿泊、医療におけるサービスに関して、衛生関係専門課程においては、食の安全と製菓に関して、文化教養関係専門課程については、自己表現及びエンターテインメントに関して、それぞれの専門性を持ち、かつ、おもてなしの心をもって質の高いサービスを提供する人材を育成し、地域社会の発展に貢献することを目的とする。

2. 3つの方針

(1) 称号授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本校では、おもてなしの心をもって、お客様に喜んで頂ける質の高いサービスを提供できる者に卒業を認定する。具体的には、以下の三つの能力をもって卒業要件とする。

- ①「おもてなし」の多様な技法や歴史に関する深い知識と高度な技術を有すること。
- ②お客様の志向性及び社会の風潮を意識し、質の高いサービスに期待される使命を果たそうとする視点を有すること。
- ③地域社会や外部関係者との組織的な取り組みに寄与できるような活動能力を有すること。

(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本校では、地域社会や企業と連携した教育活動を通して、おもてなしの心を育み、お客様に喜んで頂ける質の高いサービスと技術を習得し、地域に貢献できる人材を育成する。

パティシエ・ブランジェ科

パティシエ・ブランジェ科では、製菓・製パン技術を修得するために必要な人間と社会の理解に関する「知識・技術・ホスピタリティ」を身につけ、製菓・製パン業界を飲食業の一部という広い視野から多角的・多面的に理解するとともに、自らが進むべき方向性への自己課題とその解決のために必要な「協調性・サービス・実践力」の総合的な能力を有する人材を育成する。

『技術』そのためには、製菓・製パン・和菓子実技（1 年次 480 時間、2 年次 480 時間）の中で、1 年次では厨房での衛生管理や製菓・製パン基礎・基本動作、ルールを学び、2 年次には実践・応用学習を行う。技術力を高めつつ、現場の動きやスピードに備えたシュミレーション学習の中で、インターンシップ（4 週間）や大量生産授業を設け、社会性を養い、職場の人間関係形成のためのコミュニケーション能力を身につけつつ、対人関係を構築する力、次のすべき作業を感じる力・考える力・技術を連動させ、全員が同じ目標に向い、具体的な実践力を伸ばす。また、国家資格の製菓衛生師は、製菓・製パンに特化した「食の安全」を守るエキスパートである。安全を守るには、衛生・管理・掃除・声掛けを身につけることが必要である。実習室使用規則に順じ、また飲食業界に見合った人材を育成するための日常活動から職業人を育成する。

『知識』国家資格である製菓衛生師法は昭和 41 年に食品の衛生を守るため制定され、製菓・製パン業界の食品の安全を守る唯一の国家資格である。本学科では養成施設要件を満たせるよう、1 年次の授業は、製菓衛生師養成施設法にのっとり、衛生法規 30 時間、食品衛生 120 時間、公衆衛生 60 時間、食品学 60 時間、栄養学 60 時間、製菓理論 90 時間、社会 30 時間、製菓実技 480 時間の規定授業を

基調に、確実な資格取得に向けた授業を提供する。またサービスマナーや製菓フランス語も学ぶことで、2 年次のインターンシップ現場の対応に備える。

『ホスピタリティー』2 年次の授業では、インターンシップ（160 時間）を基調に、就職を視野に入れ総合的かつ包括的な応用技術にかかわる具体的な商品開発や大量生産、製造・販売までを体系的に学ぶ。1 年次の受験資格要件を満たし、国家資格製菓衛生師受験のための授業として、国試対策を設ける。これまでも全員受験で 90%以上の合格率を出しており、例年本校全員合格を目指す。専門的分野として独立・開業も視野に入れたマーケティング 30 時間の授業も加え、体系立てていくことができる能力を取得し、よりよいサービスを提供するために、テーブルコーディネート 15 時間、ラッピング 60 時間の中でも「おもてなし」について知識を深め資格取得し、お客様本位の飲食サービスの提供を実践する。

エアライン・観光科

エアライン・観光科では、将来、航空業界・旅行業界で活躍するために旅行業界で最高峰である国家資格「総合旅行業務取扱管理者試験」を有し、おもてなしの心と年間通して学習する TOEIC や英会話によって身につけた英語力を兼ね備えた国際人を育成する。国際人育成は世界の人々との交流を促進するために必要な「相手を理解し、尊重する」という人間としての心のあり方を基本としている。コミュニケーションの手段となる語学能力があるだけでは真の国際人とは言えず、各国にはおのおの特色ある文化や伝統があるという認識をもち、日本人として日本の文化や伝統を深く理解し伝えることができ、一流のマナーに精通していることをいう。

また、コミュニケーション力をつけるため、自分がチームの中でどのようなポジションで仕事ができるのか、そして周りの人達とどのような関わりをしていけるのかを学び、周囲とのバランスを踏まえたディスカッションスキルをつける。コミュニケーションスキルは、相手と十分な意思疎通を行うための技術だが、日ごろから「聴く」「話す」を意識してトレーニングすることによってスキルアップすることができる。また、健常者だけへのサービスだけではなく、手話やサービス介助の学習を通し、障がい者へのおもてなしも学ぶ。

研修旅行にて一流を学び、毎日の指導から歩き方、立ち姿、物腰すべてに優雅さが出る品位を身につけ、接客実務の授業から接客マナーを熟知し、美しい日本語で流暢にお客様と会話ができるだけでなく、心のこもったアナウンスもできるようになる。

また、就職指導ではニュースや雑誌、新聞等に触れる習慣づけをし、常に世界の情勢に対して敏感にアンテナを張る姿勢を身につけ、厳しい面接指導より、どんな状況においても臨機応変に対応できるスマートさを養う。

一連のカリキュラムを通して 1 年次の 1 月から始まる採用試験に向け総合的な人間力を高めている。

ブライダル・ホテル科

ブライダル・ホテル科では、業界の専門的な知識や技術の習得を目指すのは当然だが、さらにおもてなしの心を身につけたホスピタリティマインド溢れる人材を育成する。

そのためにはブライダル・ホテル関連の教科（675 時間）で知識や技術を、演習関連の教科（375 時間）で柔軟性を持った対応ができるコミュニケーション能力と表現力を習得する。

また、働くことの意味合いや厳しさ、やりがいを理解させ、仕事に対する積極性や柔軟性を身につけ

ることで様々なストレスに耐えうる力を養う。

2 年次に実施されるブライダルホテル実習（180 時間以上）では、今まで修得した専門的な知識や技術とホスピタリティマインドを発揮し、本物の新郎新婦を相手にリアルウェディングを実践する。

医療秘書・医療事務科

医療秘書・医療事務科では、医療秘書、医療事務の分野の学習から実務に必要な知識と技術を体系的に身につけ、インターンシップを通して、患者様に安心して頂ける質の高いサービスを習得する。

日本の医療においては保険が適応となっている。保険請求を行うにあたり、レセプト作成を身に付ける必要がある。それにより、医療機関の収支が決まるため、正確に算定することが重要である。医療機関（医科・歯科）、調剤、介護により算定方法や点数が異なるため、それぞれのところで正しい請求ができるよう学ぶ。

さらに近年、医事コンピューターや電子カルテの普及により、医療機関でも IT 化が進んでいる。また、それに伴い医師事務作業補助の活躍が目立つようになってきている。医療の知識だけでなく一般事務の知識も必要となるため、基本の知識を学ぶ。

また、女性のみ学科ということもあり、華道・メイク講座・テーブルマナーなど女性としての品格を身につけられる教育する。

海外ビジネス科

海外ビジネス科では将来、国際レベルの経営学の知識とリーダーシップ感覚を身につけた起業家になるべく、日本での 10 か月間とシンガポールでの 13 ヶ月間を通し、国際人として、また経営者・リーダーとしての資質、語学力、コミュニケーションスキルを習得していく。

国際人育成は世界の人々との交流を促進するために必要な「相手を理解し、尊重する」という人間としての心のあり方を基本としている。コミュニケーションの手段となる語学能力があるだけでは真の国際人とは言えず、各国にはおのの特色ある文化や伝統があるという認識をもち、日本人として日本の文化や伝統を深く理解し伝えることができ、一流のマナーに精通していることをいう。また、経営者やリーダー育成では、自分で自分を律し、目的を達成するためのタスクやスケジュールなどを効果的に管理、進行することができ、また、携わる仕事やプロジェクトの目的、その中で自分が期待されている役割を理解し、どれくらいのリソースと期間があれば達成できるのかを判断し進めていくことができるようになる。

語学力では最終 TOEIC700 点以上・英検準 1 級程度の実力を目標としている。

シンガポールは自国の少ない人口による人材不足を補うために、世界中からあらゆる分野において優れた人材を集め国家発展に寄与する優秀な頭脳の育成・集積を図り、一層のコスモポリタン化を進めている。教育水準では世界 3 本の指に入ると言われる恵まれた教育環境の中で、国際マーケティング、国際的な事業・財務の管理能力、国際ビジネスに関する分析力やコミュニケーション力をつけ、卒業時には経営上級ディプロマを取得する。

声優タレント科

声優タレント科では、「技術の取得」「一般教養」の 2 つをカリキュラムの大きな柱とし、演劇のさまざ

まなメソッドを横断的に学ぶことで、エンターテインメントの分野を通して地域社会に貢献する人材を育成する。

そのために専門科目では、「基礎力の定着 (570 コマ)」として、発声、滑舌、演技、ボーカル、ダンスのレッスンを通して、表現者としての豊かな知識と技能を学ぶ。さらに、「応用力(255 コマ)」として、朗読、ナレーション、番組製作など、多方面で活躍できる技能を身につける。一般教養科目では、人間関係形成のためのコミュニケーション能力やを身につけること、業界人としてのマナーを身に着けることを学び、良識ある業界人の育成を行う。

さらに卒業研究(30 コマ以上)では、学習してきた各科目の実践を通して、地域社会と連携した活動を通して、オーディエンスに喜んで頂けるパフォーマンス技術を習得する

(3) 入学者受け入れの方針 (アドミSSION・ポリシー)

本校では、「おもてなしの心」を通して、地域社会に貢献できる人材を求める。各学科の入学者の受け入れに関する方針は以下に示す。

パティシエ・ブランジェ科

パティシエ・ブランジェ科では、食について興味関心を持ち、食に関わる知識技術への学習意欲を持ち続け、食を通して相手を喜ばせたいという意志を持った者を求める。

エアライン・観光科

エアライン・観光科では、海外や観光分野に興味関心があり、グローバルな視点で学習意欲を持ち続け、観光・サービスを通してお客様を喜ばせたいという意志を持った者を求める。

ブライダル・ホテル科

ブライダル・ホテル科では、ホテルサービス及びブライダルに興味関心があり、質の高いサービスへの学習意欲を持ち続け、おもてなしの心をもってお客様に喜んで頂きたいと思う者を求める。

医療秘書・医療事務科

医療秘書・医療事務科では、医療事務に関する知識とともにおもてなしの心をもって、お客様に満足して頂きたいという意志をもった者を求める。

海外ビジネス科

海外ビジネス科では、グローバルな視点でのビジネスに興味を持ち、様々な国の人とコミュニケーションを取り、国際感覚を持って活躍したいという意欲のある者を求める。

声優タレント科

声優タレント科では、声優や俳優、エンターテインメントへの興味を持ち、技術習得への意欲を持ち続け、自己の表現を通してオーディエンスを喜ばせたいという意欲をもった者を求める